

本の街、神保町

古き良き雰囲気を残す本の街神保町は、世界一の古書店街である。
総数およそ二百件もある店舗のほとんどが、それぞれの専門分野を持っている。
その中から文学と芸術を愛する、私たち文芸学部の学生が、一押し個性派古書店を紹介する。



--- 中野書店 ---

神保町駅A6出口から出て靖国通り沿いを3分くらい歩いたところにある神田古書センター2階に中野書店はある。中野書店は古書全般を扱っている書店だ。店内は漫画部と古書部に半分ずつ分かれているが、今回、私達は古書部にお話しを伺うことができた。古書部の店内にはガラスケースが置いてあり、子供用の雑誌の付録、「吾輩は猫である」の初版本など滅多に目にかかれない貴重な品がガラスケースの中に置かれている。在庫数は古書部と漫画部を合わせて約10万冊

で、お店に置いてあるもの以外は倉庫に保管してあると言う。店舗での販売だけではなく、ウェブ上での販売や顧客のみに配布する「古本倶楽部」の目録販売からも本を購入できている。最近ではコレクターがリタイアしてきているので、販売の苦勞がより増したと言う。珍しいモノや良いモノはすぐに売れるが、それ以外の残ってしまったモノを売ることが難しいからだ。そこで、通信販売などより本を買い易い環境を整え、さらに店内では古書を手に取り易いように人々が興味を持つように古書の表紙を表に出して店頭で置くという「面出し」などの工夫をしている。苦勞はあるが、お客様が求めている珍しい本を売ることが出来るという



ことでやりがいを感じると言う。中野書店が神保町に店を置いている理由は、神保町は古本の市場が近いと言う理由と、やはり世界でも有名な書店街だからである。10月には古本祭りも行われるので、それに向けて古書店紹介雑誌を発行したりしている。

ゆったりとした時間が流れていて、独特の雰囲気にも包まれている中野書店に珍しい本やレトロな本を見に来たいかだろうか。
(執筆：相澤桃子・蓑田万里子)

中野書店

東京都千代田区神田神保町 2-3
神田古書センター 2F

営業時間：平日 10:00 ~ 18:30

日・祝日 11:00 ~ 17:30

TEL:03-3261-3522

定休日：第3日曜日

---KEIZO BOOKS---



神田小川町にある古書店 KEIZO は、洋書中心の美術書専門店で、パリのカフェのようなおしゃれな外観も魅力的だ。

お店の前にあるワゴンには、海外の雑誌が並べてあり、美しい外国人モデルが載った写真の表紙に思わず手が伸びる。

店内に入るとまず、本の多さに驚くはずだ。入口から見て左手側にある本棚は、奥行きのある店内の全面にまでわたっている。そこには、フェルメールなどの著名な画家の美術書から、刺繍の専門書まで並べ

られている。

その反対側にある本棚には、表紙一面にモナリザの写真が使われているもの、日本でもお馴染みのピンクパンサーの絵本など、思わず手に取って開いてしまいそうなものばかりだ。

本棚の裏には、様々な絵本やアートブックが並んだテーブルがある。世界の絵本で有名なものにはチェコがあるが、こちらの書店では最近ロシアの絵本を入荷したという。そのテーブルの向いにある背の高い本棚にも、可愛らしい外国のキャラクターが描かれたカラフルな表紙の本が陳列しており、眺めているだけでも面白い。



そんな魅力が詰まった KEIZO は、

KEIZO BOOKS

東京都千代田区神田小川町 3-16

営業時間：10：30～19：00

TEL：03-3291-7170

定休日：日曜日

その品揃えからか女性客が多いという。とにかく在庫が豊富で、本棚に入りきらない本も沢山ある。お店をやっている良かったことは、「色々な人と出会えること」と店主は言う。また、「美術書の知識には自信がある」とも語ってくれた。

美術書、絵本好きにはたまらない店、KEIZO。ちょっと立ち寄るだけでも西洋の雰囲気になれるその場所でも、お気に入りの一冊が見つかるかもしれない。

(執筆：佐々木耀子・小林絢香・柴田瞳)

KEIZO BOOKS



中野書店

